

地域別構想 1. 北西部地域

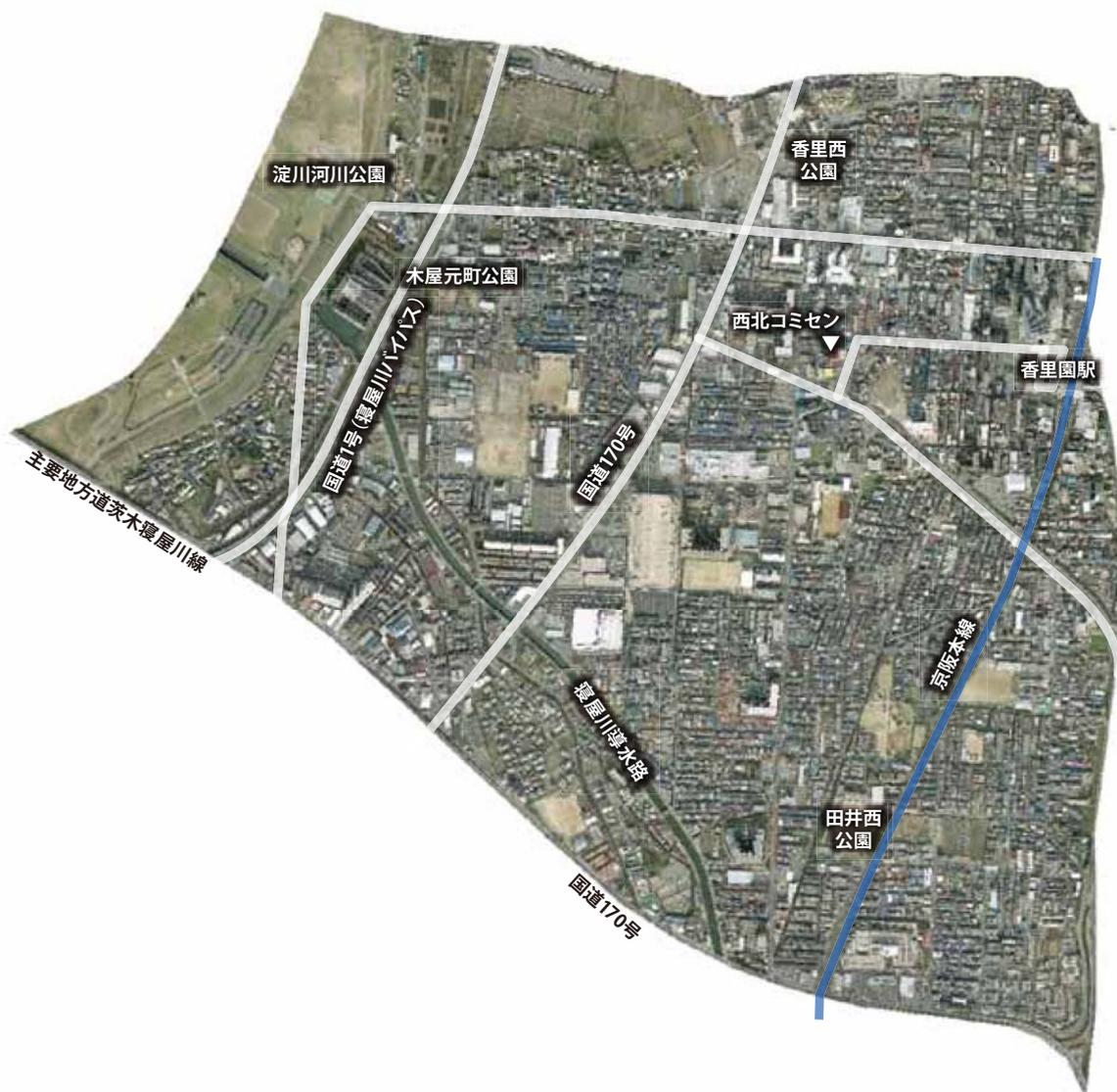
1 地域の概況

- ① 市域の北西部に位置します。
- ② 本地域内の東側に京阪本線が縦貫し、北東部に香里園駅があります。
- ③ 本地域は、枚方市域界と西側を流れる淀川、主要地方道茨木寝屋川線、国道170号などの幹線道路に囲まれています。
- ④ 本地域を国道1号(寝屋川バイパス)、主要地方道京都守口線などの幹線道路などが通過し、淀川河川公園などの公園が配置されています。
- ⑤ 本地域の面積は、約315haです。

■ 北西部地域の位置



■ 北西部地域の概況図

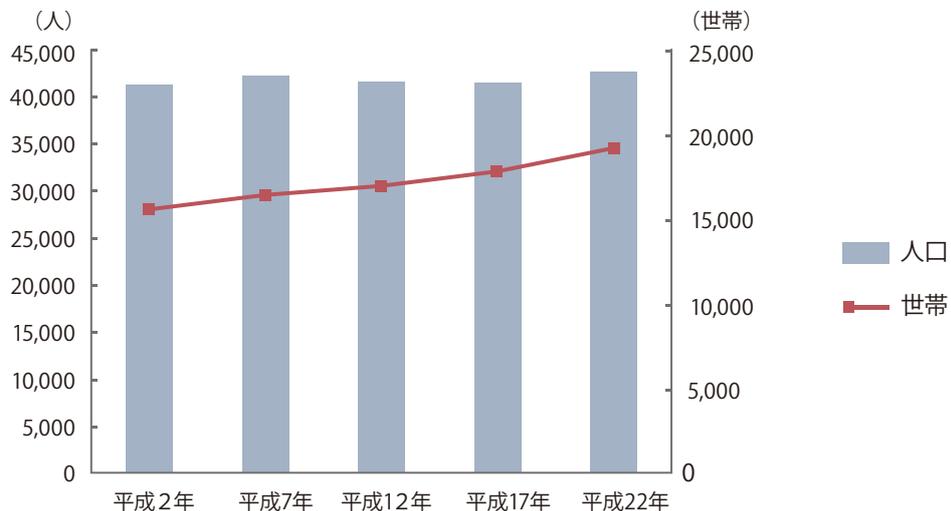


2 地域の現況と特性

(1)人口

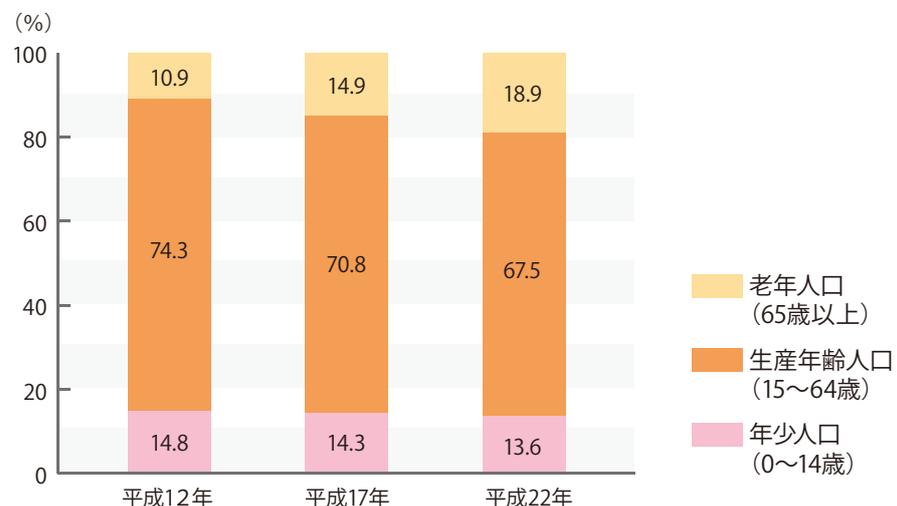
- 1) 北西部地域における平成22年現在の人口は42,708人であり、市域全体の人口の約17.6%を占めています。
- 2) 平成2年以降の人口推移を見ると、平成22年までに1,357人増加しており、各地域の中で、唯一人口増加が見られる地域となっています。
- 3) 世帯数については、平成22年現在19,195世帯となっており、1世帯当たりの平均世帯人員は2.22人／世帯で、市域全体の2.28／世帯を下回っています。
- 4) 高齢化率については、平成22年現在約18.9%で市域全体の約22.2%より低く、各地域の中でも1番低い値となっています。

■ 人口・世帯数の推移



資料：住民基本台帳及び外国人登録原票の人口

■ 年齢3区分別人口

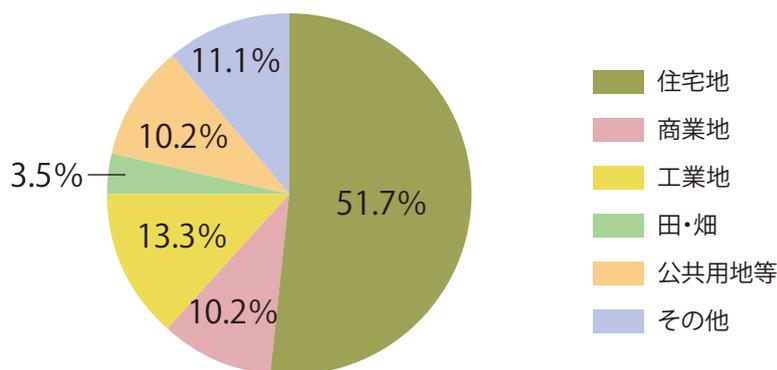


資料：住民基本台帳及び外国人登録原票の人口

(2) 土地利用

- 1) 本地域の土地利用状況は、住宅地が約163ha(約51.7%)、商業地が約32ha(約10.2%)、工業地が約42ha(約13.3%)、田・畑が約11ha(約3.5%)、公共用地等が約32ha(約10.2%)、その他が約35ha(約11.1%)となっています。
- 2) 香里園駅西側を中心に商業系土地利用が図られているとともに、これを取り巻く周辺地域では、木造賃貸住宅により形成されている密集住宅地区の改善が進められています。また、都市計画道路香里駅前線や駅前広場などの都市基盤整備に伴い、高層マンション等の立地が進んでいます。
- 3) 国道1号(寝屋川バイパス)と国道170号に挟まれた地域において、大規模工場跡地における住宅地開発が進むなど、住宅と工場等が混在した土地利用が形成されています。
- 4) 本地域内の西部には、旧集落が形成されています。
- 5) 国道1号(寝屋川バイパス)や国道170号などの沿道において、流通業務施設や沿道サービス施設などが立地しており、近年では、大規模工場跡地に大型商業施設やマンションなどが立地しています。
- 6) 本地域内の北西部において、比較的まとまりのある農地が広がっています。

■ 土地利用構成比



資料：都市計画基礎調査(平成18年)



(3) 都市基盤施設(道路・公園等)

- 1) 都市計画道路については、国道1号線、木屋田井線、茨木寝屋川線、木屋郡線、香里駅前線・同駅前広場、枚方八尾線、松屋線が整備(一部未整備を含む。)されるなど、駅周辺をはじめとする地域内における交通ネットワークが整いつつあります。
- 2) 都市計画公園については、太間公園、香里北さざんか公園、田井西公園、木屋元町公園、香里西公園が整備(一部未整備を含む。)されています。
- 3) 都市計画緑地については、淀川河川公園が整備されています。
- 4) 供給処理施設等については、寝屋川中継ポンプ場、石津中継ポンプ場が整備されています。
- 5) 公共交通(バス)については、市内のバス交通の不便地域を解消するため、香里園駅西側を起点として、木屋・太間地域から点野・葛原方面を結ぶルートと、日新町・音羽方面を経て寝屋川市駅東口を結ぶルートにおいて、「タウンくる」が運行されています。

(4) その他公共施設等

- 1) 西北コミュニティセンター、香里市民センター、男女共同参画推進センター、ふれあいプラザ香里、香里浄水場などがあります。
- 2) 保育所・保育園(5箇所)、幼稚園(2園)、小学校(4校)、中学校(2校)があります。
- 3) 太間排水機場、水生生物センターがあります。

(5) 水や緑、歴史文化

- 1) 広大で自然豊かな淀川河川公園は「新寝屋川八景」に指定されています。また、幹線水路の桜は、大阪みどりの百選に選ばれています。
- 2) 本地域には、淀川をはじめ、寝屋川導水路、幹線水路が流れています。
- 3) 鞆呂岐(ともろぎ)神社、二十箇(にじっか)用水記念碑、茨田堤(まんだのつつみ)碑、淀川河川公園等を結んだルート【淀川コース】などを「ねやがわ文化と歴史のみち」として設定し、ふるさと「寝屋川」を実感することができるやすらぎと憩いの場が形成されています。
- 4) 淀川河川公園には、北河内自転車道(北河内サイクルライン)があります。

地域の現況と特性に関する ワークショップにおける意見

ワークショップにおいて「地域の良いところ(まちづくりの資源)」としてまとめられた意見の中で、以下の項目が「まちづくりにおいて特に大切にしたい資源」として挙げられています。

◆ まちづくりにおいて特に大切にしたい資源

- ① 公共交通が便利なところ
- ② 買い物の利便性が良いところ
- ③ “香里園”というネーミングの良いところ

3 地域の課題

(1) 駅周辺における都市機能の充実と魅力の向上

- 1) 香里園駅周辺については、駅前広場や道路などの基盤整備に伴い、既存商店街を維持しつつ、高層マンションや商業施設の立地が進むなど、土地の高度利用とともに多様な都市機能が集積されていることから、今後もこれらの機能の充実を図り、便利で暮らしやすいにぎわいのあるまちとしてのブランド確立を目指すなど、魅力ある都市核の形成が求められます。
- 2) 京阪本線連続立体交差事業の推進により、医療施設、商業施設などの駅東側に集積する都市機能との連携強化を図るとともに、駅前のパブリック空間を活用した人々の交流を促すなど、都市核の更なる活性化が求められます。

(2) 京阪本線連続立体交差事業の推進

- 本地域を京阪本線が南北に縦貫するとともに、多くの踏み切りが存在することから、歩行者の安全性や車両の通行などの交通・安全機能に支障が生じています。
このため、連続立体交差事業の推進と併せて、その周辺地域における新たな道路整備を推進するなど、利便性の高い交通環境や安心して歩ける歩行者空間を確保するとともに、必要に応じてその沿道利用の促進が求められます。

(3) 駅周辺におけるまちづくりの推進

- 香里園駅周辺については、香里園駅東地区第一種市街地再開発事業や西側駅前広場の整備が進むとともに、京阪本線連続立体交差事業の推進などにより、今後においても本地域のまちの様相が大きく変化することが予想されます。
これらのことから、「寝屋川市香里園駅周辺地区まちづくり構想」に基づく取り組みを進めるとともに、密集住宅地区や住工混在地区の改善を図るなど、地域一体におけるまちづくりが求められます。



(4) 幹線道路沿道におけるまちづくり

- 1) 国道1号(寝屋川バイパス)や国道170号、主要幹線道路茨木寝屋川線などの主要幹線道路沿道については、流通業務施設や沿道サービス施設が立地していることから、これらの機能充実が求められます。
- 2) 主要地方道八尾枚方線につながる国道170号沿道については、沿道サービス機能の集積を図る中で、日常購買施設の立地誘導に努めるなど、市民に密着した沿道利用の促進とともに、地域コミュニティの活性化が求められます。

(5) 災害に強いまちづくりの推進

- 1) 近年多発する豪雨等に対応するため、水路や雨水排水管の適正な維持管理を行うとともに、雨水貯留施設の設置など更なる浸水被害防除の対策が求められます。
- 2) 本地域内の西部における、狭あいな道路が多く存在する消防活動が困難な地域については、防災性の向上が求められます。

(6) 水と緑豊かな良好な自然環境の保全

- 1) 淀川や幹線水路、寝屋川導水路の水辺空間と、淀川河川公園などのみどり空間により形成される自然環境の保全や形成が求められます。
- 2) 鞆呂岐神社や茨田堤碑などの歴史的資源を活かした魅力ある都市空間の形成が求められます。
- 3) 大規模自転車道として整備された北河内自転車道(北河内サイクルライン)を活用するなど、淀川河川公園や文化施設などを広域的に結び、市民の自然とのふれあいやスポーツ、レクリエーションの場としての充実が求められます。
- 4) 本地域内の北西部については、まとまりのある良好な農地により形成される自然環境の保全が求められます。



地域の課題に関する ワークショップにおける意見

ワークショップにおいて「地域の改善課題」としてまとめられた意見の中で、以下の項目が「重点的に取り組むべき改善課題」として挙げられています。

◆ 重点的に取り組むべき改善課題

- ① 道路の狭さの解消や京阪電車の立体化の促進など安全で円滑な道路交通体系の整備
- ② 浸水害への対応
- ③ 安心できるコミュニティづくり

4 地域の目標

◆誰もが集い にぎわいのある駅周辺のまちづくり

香里園駅周辺を中心に形成されている、既存商店街などの商業施設をはじめとする多様な都市機能を活用するとともに、京阪本線連続立体交差事業の推進による駅東西の一体化を図る中で、新たに歩行者導線を確保するなど、安全で快適に移動できる駅へのネットワークの充実に努め、世代を問わずに誰もが集うにぎわいのあるまちづくりを目指します。

◆安全・快適な交通環境やまちなみ形成

京阪本線連続立体交差事業により、踏切除却や市街地の一体性の確保を目指す中で、地域における新たな交通ネットワークを構築するなど、駅へのアクセス性の向上や安全・快適な交通環境を形成するとともに、主要幹線道路沿道における沿道サービス施設等の立地を誘導することにより、交通利便性を活かしたまちなみ形成と地域の活性化を目指します。

◆自然環境を活かし 安全で快適な魅力あふれるまちづくり

産学公民協働による「寝屋川市香里園駅周辺地区まちづくり構想」に基づく取り組みをもとに、京阪本線連続立体交差事業の推進に伴う都市基盤施設の充実に図り、生活利便性の向上や安全・快適な交通環境を形成するとともに、淀川河川公園や幹線水路の桜並木などの地域資源や既存道路を活かしながら、歩行者が安全で快適に回遊できるネットワークの形成を図るなど、自然環境を活かした安全で快適な魅力あふれるまちづくりを目指します。



ワークショップにおけるまちづくりの目標

ワークショップでは、北西部地域において重点的に取り組むことが必要なまちづくりの課題に対して、その取り組みを進めていくために必要な条件を検討し、以下のとおり取り組みの方向がまとめられました。

人々の交流や付き合いを深め、子どもを安心して育てることができる環境づくり

【まちづくりの取り組みの方向】

- 災害などに備え、地域で助け合うことができ、安心して暮らせるまちをつくろう！

淀川の自然や地域の歴史文化を活かし、歩いて暮らせる楽しいまちづくり

【まちづくりの取り組みの方向】

- 誰もが安心して楽しく歩けるみちをつくろう！

5 将来の都市空間形成に向けた都市計画分野の方針①

種 類	内 容
土 地 利 用	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存住宅地における定住性の確保を目指し、良好な住環境の維持保全や向上に努めます。 ● 国道1号(寝屋川バイパス)や国道170号などの幹線道路沿道については、沿道サービス施設等の立地誘導に努めます。 ● 都市核(香里園駅周辺)を取り巻く周辺地域については、日常生活に必要なサービス機能等が整った利便性の高い住宅地の形成に努めます。 ● 本地域内の北西部に広がる市街化調整区域の農地等については、保全を前提とした上で、周辺環境や景観との調和を図りつつ、地域特性に応じた計画的な土地利用の誘導に努めます。
市 街 地 等 整 備	<ul style="list-style-type: none"> ● 香里園駅周辺については、香里園駅東地区第一種市街地再開発事業や京阪本線連続立体交差事業を推進するとともに、民間活力の導入や産学公民が連携・協働する駅周辺のまちづくりを進め、質の高い広域拠点を目指し、本市の“北核”としての形成を推進します。 ● 香里園駅西側に広がる密集住宅地区(香里地区)の改善を推進するとともに、国道1号(寝屋川バイパス)と国道170号に挟まれた地域における住工混在の改善に努めます。 ● 道路が狭あいな旧集落地区などについては、防災上必要な道路などの空間確保に努め、安全・安心な住環境の形成に努めます。
道 路・交 通 系	<ul style="list-style-type: none"> ● 京阪本線連続立体交差事業を推進し、都市交通の円滑化や市街地の分断解消を図ります。 ● 京阪本線連続立体交差事業に伴い、沿線を含んだ一体的なまちづくりの観点から、駅前広場や道路の整備などを推進することにより、利便性の高い交通環境と快適でゆとりのある歩行者空間を形成するなど、駅周辺での移動の円滑化や安全・安心のまちづくりを目指し、交通ネットワークの充実を図ります。 ● 密集住宅地区(香里地区)における主要生活道路の整備を推進します。

5 将来の都市空間形成に向けた都市計画分野の方針②

種 類	内 容
そ の 他 都 市 施 設 整 備	<ul style="list-style-type: none"> ● レクリエーション拠点である淀川河川公園を中心として、寝屋川導水路などの水辺空間を活かした、水と緑のネットワーク軸の形成に努めます。
安 全 で 安 心 で き る ま ち づ くり	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩行空間のバリアフリー化への取り組みとして、車いす使用者がすれ違えるように、幅の広い歩道の整備や、歩道の段差・勾配等の改善に努めます。 ● 生活道路の整備に努めるなど、高齢者・障害者にやさしいまちづくりの推進を図ります。 ● 地域の防災環境を整備するとともに、市民の防災意識の高揚や自主防災組織の強化を図るなど、地域防災力の向上に努めます。 ● 市街地における治水機能や建築物の耐震化率の向上に努めます。
景 観 の 形 成 や 自 然 環 境 の 保 全 等	<ul style="list-style-type: none"> ● 寝屋川市景観基本計画に基づき「景観重点ゾーン」に位置づけられた淀川河川軸などを中心に、地域住民や関係権利者等との意思疎通を図りつつ、「景観重点地区」の指定に向けた取り組みを進めます。 ● 市民が主体となって取り組んでいる水辺環境の保全活動を支援するとともに、自然環境や景観に配慮した貴重な水辺空間の整備と保全に努めます。



6 整備方針図

《農地等の自然環境の保全》
 ○市街化調整区域における農地等による自然環境の保全

《住工共存のまちづくり》
 ○住工混在地域における住環境と操業環境の保全

《レクリエーション拠点》
 ○淀川河川公園を中心とした水と緑のネットワークの形成
 ○広大な自然環境を活用したレクリエーションの場の充実

《幹線道路沿道の土地利用》
 ○国道1号(寝屋川バイパス)などにおける流通業務、沿道サービス機能の充実

『地域全体の方針』

- 「寝屋川市香里園駅周辺地区まちづくり構想」に基づく取り組み推進
- 淀川などの自然環境を活かした安全で快適な魅力あふれるまちづくり
- 既存住宅地における定住性の確保を目指した良好な住環境の維持保全や向上
- 狭あいな道路が多く存在する消防活動困難地域における防災性の向上等による災害に強いまちづくりを推進
- 歩行者空間における安全性の確保
- 香里園駅を中心とした景観形成
- 市街地における治水機能や耐震化率の向上

《都市核の形成》
 ○にぎわいと魅力ある都市核の形成
 ○香里園駅を中心とした商業機能の充実
 ○駅東西の一体化や交通ネットワークの充実などによる市民交流の促進

《駅周辺におけるまちづくり》
 ○新たな交通ネットワーク形成に伴う駅へのアクセス性の向上や地域の活性化を目指した土地利用の誘導
 ○密集住宅地区の改善

《幹線道路沿道のまちづくり》
 ○市民に密着した沿道利用の促進
 ○地域コミュニティの活性化

《連続立体交差事業の推進》
 ○踏切除却や市街地の一体性確保
 ○新たな交通ネットワークの形成による都市交通の円滑化や歩行者の安全性確保

凡例

《拠点》

- 都市核
- レクリエーション拠点

《土地利用》

- 一般住宅Aゾーン
- 都市居住ゾーン
- 商業・業務ゾーン
- 沿道サービスゾーン
- 住工共存ゾーン
- 自然環境共生ゾーン
- レクリエーション・緑地ゾーン

《都市施設等》

- 都市計画道路(整備済)
- 都市計画道路(未着手)
- 地域の主要道路
- 都市計画公園(着色部分⇒整備済)
- 都市計画緑地(着色部分⇒整備済)
- 供給処理施設等
- 主な河川・水路

